

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書  
**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項  
**【提出先】** 関東財務局長  
**【提出日】** 平成24年2月3日  
**【四半期会計期間】** 第16期第2四半期（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）  
**【会社名】** 株式会社ビューティ花壇  
**【英訳名】** Beauty Kadan Co.,Ltd.  
**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 三島 美佐夫  
**【本店の所在の場所】** 東京都墨田区横網一丁目2番16号両国国技館前東誠ビル7階  
**【電話番号】** 03 - 5819 - 5670  
**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 須浪 薫  
**【最寄りの連絡場所】** 東京都墨田区横網一丁目2番16号両国国技館前東誠ビル7階  
**【電話番号】** 03 - 5819 - 5670  
**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 須浪 薫  
**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第15期 第2四半期連結 累計期間	第16期 第2四半期連結 累計期間	第15期
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年7月1日 至 平成23年6月30日
売上高	(千円)	2,047,127	2,094,530	4,122,743
経常利益	(千円)	75,182	30,729	181,533
四半期(当期)純利益	(千円)	69,573	3,708	125,462
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	77,085	6,365	142,806
純資産額	(千円)	496,440	494,256	565,013
総資産額	(千円)	1,533,641	1,689,413	1,644,625
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	3,208.26	174.82	5,830.51
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	3,189.92	-	5,813.54
自己資本比率	(%)	29.1	26.3	30.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	74,082	32,196	171,140
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	16,710	227,144	115,280
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	60,196	29,545	2,713
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	450,148	342,062	515,811

回次		第15期 第2四半期 連結会計期間	第16期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	2,830.57	756.03

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第15期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 第16期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当社グループは、当社及び連結子会社2社(美麗花壇股? 有限公司、株式会社クラウンガーデネックス)によって構成されており、生花祭壇事業、生花卸売事業及びブライダル装花事業に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

当社は、平成23年10月5日開催の取締役会において、昇建設株式会社の株式を取得し子会社化することを決議し、同日付で同社と基本合意書を締結いたしました。

なお、平成23年12月1日開催の取締役会において、同社と株式譲渡契約を締結することについて決議し、同日付で同社の株主と株式譲渡契約書を締結いたしました。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載しております。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

第1四半期連結会計期間より、生花祭壇事業及びブライダル装花事業売上に対応する原価をより適切に示すため、売上原価及び販売費及び一般管理費の一部を組み替えによる表示の変更を行っており、遡及処理後の数値で当四半期連結累計期間の比較・分析を行っております。

また、前連結会計年度の期末より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当四半期連結累計期間の比較・分析は、変更の影響を含めております。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にあるもののサプライチェーンの復旧に伴う生産活動については回復基調に推移しました。一方、タイの大洪水による被害や、欧州の金融危機による世界経済の下振れなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。基本方針として、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上アップ、徹底的な経費削減を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,094,530千円（前年同期比2.3%増）となりました。売上総利益は、中期経営計画の1つである徹底したローコストオペレーションのために取り組んでいる加工物流センターへの設備投資と同センターにおける人材の先行雇用、教育費用が増加したことにより、350,739千円（前年同期比16.2%減）となりました。販売費及び一般管理費は、地代家賃、支払手数料等を抑え315,555千円（前年同期比7.6%減）となり、営業利益は、35,184千円（前年同期比54.5%減）となりました。また、経常利益は、30,729千円（前年同期比59.1%減）、四半期純利益は、固定資産除却損、法人税等により3,708千円（前年同期比94.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,556,383千円（前年同期比1.8%増）となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成23年7月から平成23年11月までの売上高は224,812百万円（前年同期比2.3%増）、件数は156,133件（前年同期比1.6%増）と増加傾向にあります（同調査は、平成23年7月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成23年6月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております）。このような状況の中、前述の全社基本方針を徹底してまいりましたが、加工物流センターへの設備投資と同センターにおける人材の先行雇用、教育費用が増加したことにより営業利益は131,584千円（前年同期比33%減）となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、403,162千円（前年同期比0.1%増）となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」（平成23年11月）によると、平成23年7月から平成23年11月までの切花累計の数量は399百万本（前年同期比2.3%増）、金額では24,449百万円（前年同期比3.2%減）と数量ベースでは増加、金額ベースでは減少となっております。当社では、前述の全社基本方針を徹底した結果、当第2四半期連結累計期間の取扱数量は前年同期比で27.9%増となっております。その一方で、当事業が属する花卉業界におきましても低価格競争が激しくなり、営業利益は83,642千円（前年同期比20.4%減）となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、134,984千円（前年同期比16.7%増）となりました。結婚式場業は少子化や晩婚化等の影響を受けており、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成23年6月から平成23年11月までの結婚式場業の売上高は85,362百万円（前年同期比10.4%減）、取扱件数は28,802件（前年同期比10.4%減）と減少傾向にあります。当事業を請け負う連結子会社の株式会社クラウンガーデネックスにおいて、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上アップにより、売上高、売上総利益ともに改善し、営業利益は12,206千円（前年同期比229.2%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ44,788千円増加し、1,689,413千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ130,687千円減少し、904,966千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ175,476千円増加し、784,447千円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ115,546千円増加し、1,195,157千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ161,950千円増加し、760,245千円となりました。これは主に、短期借入金と1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ46,403千円減少し、434,912千円となりました。これは主に、社債と長期借入金の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ70,757千円減少し、494,256千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ173,749千円減少し、342,062千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は32,196千円（前年同期は74,082千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益15,853千円と非資金費用である減価償却費28,035千円の計上によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は227,144千円（前年同期は16,710千円の使用）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出229,984千円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は29,545千円（前年同期は60,196千円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純増124,500千円と社債の償還による支出35,000千円と配当金の支払額42,696千円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	88,000
計	88,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月3日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,380	25,380	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	25,380	25,380		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	25,380	-	213,240	-	133,240

(6) 【大株主の状況】

平成23年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
三島 美佐夫	熊本県熊本市	9,500	37.43
ビューティ花壇従業員持株会	東京都墨田区横網1丁目2番16号	928	3.66
三島 志子	熊本県熊本市	600	2.36
清水 康	東京都港区	500	1.97
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	402	1.58
水野 裕是	東京都練馬区	346	1.36
株式会社河野メリクロン	徳島県美馬市脇町大字北庄562-1	344	1.36
佐藤 吉和	神奈川県横浜市瀬谷区	300	1.18
河野 通郎	徳島県美馬市	231	0.91
岩下 貴宏	熊本県熊本市	150	0.59
計		13,301	52.41

(注) 上記のほか当社所有の自己株式4,427株(17.44%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 4,427	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,953	20,953	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
発行済株式総数	25,380	-	-
総株主の議決権	-	20,953	-

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社ビューティ花壇	東京都墨田区横網1丁目2番16号	4,427		4,427	17.44
計		4,427		4,427	17.44

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年7月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人よつば総合事務所による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	515,811	342,062
受取手形及び売掛金	435,351	476,594
商品	2,762	3,114
仕掛品	198	74
原材料及び貯蔵品	11,554	26,607
その他	73,114	70,309
貸倒引当金	3,140	13,797
流動資産合計	1,035,653	904,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	114,295	131,656
減価償却累計額	56,382	60,237
建物及び構築物(純額)	57,913	71,419
工具、器具及び備品	174,137	169,830
減価償却累計額	115,536	118,552
工具、器具及び備品(純額)	58,601	51,277
土地	122,842	122,842
建設仮勘定	-	185,048
その他	66,725	82,650
減価償却累計額	11,373	22,900
その他(純額)	55,352	59,749
有形固定資産合計	294,708	490,336
無形固定資産	15,625	7,190
投資その他の資産		
差入保証金	161,502	140,463
その他	158,806	168,806
貸倒引当金	21,670	22,350
投資その他の資産合計	298,638	286,920
固定資産合計	608,971	784,447
資産合計	1,644,625	1,689,413

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,783	98,783
短期借入金	40,500	165,000
1年内返済予定の長期借入金	193,560	224,960
未払法人税等	39,905	15,327
その他	248,547	256,173
流動負債合計	598,295	760,245
固定負債		
社債	95,000	80,000
長期借入金	350,064	320,484
退職給付引当金	14,369	15,179
資産除去債務	-	889
その他	21,882	18,359
固定負債合計	481,315	434,912
負債合計	1,079,611	1,195,157
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	133,240	133,240
利益剰余金	308,722	269,735
自己株式	142,851	158,539
株主資本合計	512,350	457,676
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,301	13,309
その他の包括利益累計額合計	7,301	13,309
少数株主持分	59,964	49,890
純資産合計	565,013	494,256
負債純資産合計	1,644,625	1,689,413

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,047,127	2,094,530
売上原価	1,628,395	1,743,791
売上総利益	418,732	350,739
販売費及び一般管理費	1 341,399	1 315,555
営業利益	77,332	35,184
営業外収益		
受取利息	249	190
受取地代家賃	5,413	5,256
為替差益	-	428
その他	2,783	1,594
営業外収益合計	8,446	7,469
営業外費用		
支払利息	5,583	5,031
貸倒引当金繰入額	-	3,150
不動産賃貸費用	2,336	2,100
為替差損	1,504	-
その他	1,172	1,641
営業外費用合計	10,596	11,924
経常利益	75,182	30,729
特別利益		
固定資産売却益	1,507	-
移転補償金	40,271	-
特別利益合計	41,778	-
特別損失		
固定資産除却損	6,451	14,875
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,347	-
その他	2,575	-
特別損失合計	11,374	14,875
税金等調整前四半期純利益	105,586	15,853
法人税、住民税及び事業税	26,689	12,404
法人税等調整額	2,135	3,806
法人税等合計	24,554	16,210
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	81,032	357
少数株主利益又は少数株主損失( )	11,458	4,066
四半期純利益	69,573	3,708

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	81,032	357
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,946	6,008
その他の包括利益合計	3,946	6,008
四半期包括利益	77,085	6,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,517	704
少数株主に係る四半期包括利益	13,432	7,070

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	105,586	15,853
減価償却費	24,402	28,035
差入保証金償却額	1,422	379
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,347	-
長期前払費用償却額	5,801	5,090
貸倒引当金の増減額(は減少)	171	11,875
退職給付引当金の増減額(は減少)	993	809
受取利息	249	190
受取賃貸料	5,413	5,256
補助金収入	1,680	420
支払利息	5,583	5,031
固定資産除売却損益(は益)	4,944	14,875
売上債権の増減額(は増加)	60,434	46,809
たな卸資産の増減額(は増加)	6,768	15,281
その他の資産の増減額(は増加)	6,284	3,665
仕入債務の増減額(は減少)	5,420	24,159
その他の負債の増減額(は減少)	32,890	30,308
その他	2,934	4,319
小計	124,238	69,116
利息の受取額	249	190
賃貸料の受取額	3,837	3,915
補助金の受取額	1,680	420
利息の支払額	5,255	4,425
法人税等の支払額	50,666	37,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,082	32,196
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付けによる支出	1,620	-
貸付金の回収による収入	2,494	2,884
有形及び無形固定資産の取得による支出	15,884	229,984
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,952	-
差入保証金の差入による支出	8,957	1,376
差入保証金の回収による収入	22,773	19,671
保険積立金の積立による支出	17,459	17,459
投資その他の資産の増減額(は増加)	10	879
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,710	227,144

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	250,000	215,000
短期借入金の返済による支出	232,100	90,500
長期借入れによる収入	165,000	100,000
長期借入金の返済による支出	150,095	98,180
社債の償還による支出	25,000	35,000
株式の発行による収入	2,720	-
自己株式の取得による支出	38,164	15,687
配当金の支払額	28,740	42,696
その他	3,816	3,390
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>60,196</b>	<b>29,545</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,974	8,346
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	8,799	173,748
現金及び現金同等物の期首残高	458,947	515,811
現金及び現金同等物の四半期末残高	450,148	342,062

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
1 販売費及び一般管理費のうち主なもの 給料手当                            94,292千円 貸倒引当金繰入額                    171千円 退職給付引当金繰入額                352千円	1 販売費及び一般管理費のうち主なもの 給料手当                            94,699千円 貸倒引当金繰入額                    8,725千円 退職給付引当金繰入額                649千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在) 現金及び預金勘定                    450,148千円 現金及び現金同等物                  450,148千円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年12月31日現在) 現金及び預金勘定                    342,062千円 現金及び現金同等物                  342,062千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年9月24日 定時株主総会	普通株式	28,740	1,300	平成22年6月30日	平成22年9月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	42,696	2,000	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,528,410	402,793	115,690	2,046,894	233	2,047,127	-	2,047,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	460,297	5,795	466,092	-	466,092	466,092	-
計	1,528,410	863,091	121,485	2,512,986	233	2,513,220	466,092	2,047,127
セグメント利益又は損 失( )	196,471	105,020	3,707	305,199	750	304,449	227,116	77,332

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プランツスケープ事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 227,116千円には、セグメント間取引消去4,579千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 231,696千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	生花祭壇事業	生花卸売事業	ブライダル 装花事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,556,383	403,162	134,984	2,094,530	-	2,094,530
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	473,214	4,601	477,816	477,816	-
計	1,556,383	876,377	139,585	2,572,346	477,816	2,094,530
セグメント利益又は損 失( )	131,584	83,642	12,206	227,433	192,249	35,184

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 192,249千円には、セグメント間取引消去1,226千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 193,475千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第3四半期連結累計期間まで生花祭壇事業及び生花卸売事業の2つを報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度の期末より、生花祭壇事業、生花卸売事業及びブライダル装花事業の3つの報告セグメントに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成していません。



(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	3,208.26	174.82
四半期純利益(千円)	69,573	3,708
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	69,573	3,708
期中平均株式数(株)	21,685	21,216
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額(円)	3,189.92	-
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	124	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 株式会社システムハウス福知山の株式取得(完全子会社化)に関する基本合意書締結に関するお知らせ

当社は、平成24年1月13日開催の取締役会において、株式会社システムハウス福知山の株式を取得し完全子会社化することを決議し、同日付で同社と基本合意書を締結しましたので、お知らせいたします。

(1) 株式の取得の理由

株式会社システムハウス福知山の持つシステム領域における企画力・構築力と、株式会社ビューティ花壇の持つ商品開発力・事業プロデュース力・全国の事業拠点を活用して、冠婚葬祭事業者に対する新たな商品・サービスの開発や経営課題に応える新しいマーケティングソリューションサービスの提供、メディアのデジタル化に関連した新しい共同ビジネスの開発などについて推進し実現するため、基本合意書を締結し株式を取得するものであります。

(2) 異動する子会社(株式会社システムハウス福知山)の概要

名称	株式会社システムハウス福知山		
所在地	京都府福知山市字猪崎小字古黒353番地		
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 岡田 正人		
事業内容	パソコンによる各種システム販売・受託・設計・製作		
資本金	48,000,000円		
設立年月日	1986年6月		
大株主および持株比率	岡田 正人(85.2%)		
上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。	
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。	
当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成21年5月期	平成22年5月期	平成23年5月期
純資産	142,867千円	127,696千円	128,189千円
総資産	374,296千円	351,588千円	330,068千円
1株当たり純資産	148,819円	133,016円	133,530円
売上高	205,296千円	181,650千円	199,277千円
営業損失	21,407千円	13,434千円	521千円
経常利益又は経常損失( )	26,457千円	14,965千円	699千円
当期純利益又は当期純損失( )	26,738千円	15,171千円	493千円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失( )	27,852円	15,803円	513円
1株当たり配当金	-円	-円	-円

(3) 株式取得の相手先の概要

氏名	岡田 正人
住所	京都府福知山市字正明寺1715-16
上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人（その近親者、当該個人及びその近親者が過半数所有している会社等並びにその子会社を含む。）との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該個人並びに当該個人の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・取引関係はありません。

(4) 取得株式数、取得価格及び取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (所有割合：0%)
取得株式数	960株 (議決権の数：960個) (発行済株式数に対する割合：100%) (取得価額：未定)
異動後の所有株式数	960株 (議決権の数：960個) (所有割合：100%)

(5) 異動の日程

平成24年1月13日 取締役会決議

株式譲渡基本合意契約書締結

平成24年3月1日 株式取得日（予定）

2. 昇建設株式会社の株式取得完了に関するお知らせ

当社は、平成23年12月1日付で締結いたしました昇建設株式会社株主との株式譲渡契約につき平成24年2月1日に同社株式を取得し、連結子会社化いたしました。

(1) 株式の取得の理由

当社は、100%子会社である株式会社クラウンガーデネックスを中心に、造園施設の企画、設計、監理等を行っております。この度、昇建設株式会社の株式を取得し子会社化することにより、造園・土木に関する業務を強化し、更なる事業の発展を目指すものであります。

(2) 異動する子会社（昇建設株式会社）の概要

名称	昇建設株式会社	
所在地	熊本市国府三丁目21番91号	
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 平山 正俊	
事業内容	土木・管工事一式請負	
資本金	48,000,000円	
設立年月日	昭和29年5月8日	
大株主および持株比率	荒木哲美 55.8%	
上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
決算期	平成21年2月期	平成22年2月期	平成23年2月期	平成23年7月期 (5ヶ月決算)
純資産	81百万円	83百万円	94百万円	96百万円
総資産	386百万円	508百万円	356百万円	238百万円
1株当たり純資産	850円	872円	984円	1,009円
売上高	568百万円	424百万円	649百万円	261百万円
営業利益	17百万円	11百万円	21百万円	7百万円
経常利益	6百万円	3百万円	18百万円	5百万円
当期純利益	3百万円	2百万円	10百万円	2百万円
1株当たり当期純利益	34円	21円	111円	25円
1株当たり配当金	-円	-円	-円	-円

(注) 平成23年7月期は、決算月変更により平成23年3月1日から平成23年7月31日までの5ヶ月間となっております。

### (3) 株式取得の相手先の概要

氏名	荒木 哲美
住所	熊本県熊本市
上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人（その近親者、当該個人及びその近親者が過半数所有している会社等並びにその子会社を含む。）との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該個人並びに当該個人の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・取引関係はありません。

氏名	荒木 サナエ
住所	熊本県熊本市
上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人（その近親者、当該個人及びその近親者が過半数所有している会社等並びにその子会社を含む。）との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該個人並びに当該個人の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・取引関係はありません。

### (4) 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (所有割合：0%)
取得株式数	56,000株 (議決権の数：56,000個) (発行済株式数に対する割合：58.3%) (取得価額：20,000,000円)
異動後の所有株式数	56,000株 (議決権の数：56,000個) (所有割合：69.13%)

(注) 第1四半期報告書の(重要な後発事象)に記載しておりました昇建設株式会社取得にかかる所有割合は58.3%でしたが、同社が平成24年1月24日に自己株式を取得したため、69.13%へと変動しております。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月3日

株式会社ビューティ花壇  
取締役会 御中

監査法人よつば総合事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 神 門 剛 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 高 屋 友 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティ花壇の平成23年7月1日から平成24年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年7月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティ花壇及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 強調事項

1. 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、平成24年1月13日開催の取締役会において、株式会社システムハウス福知山の株式を取得し完全子会社化することを決議し、同日付で同社と基本合意書を締結した。

2. 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、平成24年2月1日付で、昇建設株式会社の株式を取得し、連結子会社化した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものでない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。